



COLLEGE WOMEN'S ASSOCIATION OF JAPAN

CWAJ

ANNUAL REPORT
2019-2020

MARCH 2020



創立 70 周年を迎えた CWAJ

2019 年は CWAJ にとって、70 周年を祝う特別な年でした。1949 年の創立以来一貫して教育・芸術・社会奉仕活動を強力に推進し、異文化間の対話に努めつつ未来を見つめ続けてきたことは、大きな誇りです。70 周年を記念する二大イベントとして、女性のエンパワメントという会の理念に基づいた公開シンポジウムを 3 月に開催し、5 月には国内外から参加したメンバーに加え、多数の奨学生、関係者を迎えて盛大な記念ディナーが開かれました。

CWAJ70 周年記念公開シンポジウム

「あなたの力が何かを変える

—女性たちから学ぶ多様な生き方—

国際女性デーの 2019 年 3 月 8 日、各界で活躍する 4 人の女性リーダーをパネリストに迎え、国際文化会館にて公開シンポジウムを開催しました。一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長黒田かをり氏が「持続可能な社会について」、ファンドレイジング・ラボ代表徳永洋子氏が「社会を変えるファンドレイジング」、2004 年に CWAJ 奨学生として米国留学後、現在は一般財団法人教育支援グローバル基金を主宰する坪内南氏が「多様な価値観から生まれる『寛容さ』を目指して」、ジャパンタイムズ編集局長の大門小百合氏が「あなたの力が世界を変える」というタイトルで講演したのち、久野明子 CWAJ 元会長の司会で活発なディスカッションが交わされ、約 160 名の参加者との質疑応答が続きました。

冒頭では、カスタムメディア社が日本女性の活躍の代表例として CWAJ を取材し制作したビデオ『Women at Work』が上映されたほか、終了後には別室にてネットワーキングレセプションが催され、参加者は和やかに交流しながら情報交換していました。大成功に終わったこのシンポジウムは、CWAJ の活動を広く紹介する好機となりました。

シンポジウムを開催するにあたり一般社団法人東京倶楽部の助成を受けました。ここに深く謝意を表します。

CWAJ70 周年記念ディナー

「70 年間の CWAJ の歴史と友情を祝して」

2019 年 5 月 17 日、元会長や会員、版画家、CWAJ 奨学生など 200 余名がホテルオークラ アスコットホールに集まりました。祝賀会の始まりは鏡開きです。CWAJ の多彩な活動を象徴する 5 人の女性たち、1970 年会長バーバラ・ノード、2019 年会長大島令子、長年にわたり CWAJ 版画展に協力いただいているアーティスト柳澤紀子、CWAJ 奨学生第一期生の児玉美意子、2017 年視覚障害奨学生の兼子莉那那氏が壇上に登り、そろって晴れやかに木槌をふるいました。

この夜のハイライトのひとつは、2019 年度 CWAJ 奨学生の紹介。CWAJ 創立 70 周年記念海外留学大学院女子奨学金の受賞者 2 名を含む 7 名の新しい奨学生がステージで自己紹介し、満場の拍手を浴びました。続いてジョン・カピラ氏の熱のこもった司会で、奨学金のためのライブオークションが行われました。会員グループが一年がかりで製作したキルトや、貴重なアート体験を盛り込んだ福島や京都のトラベルパッケージなど、魅力的なアイテムが人気を集め、大きな成果を上げました。最後には CWAJ 会員の高野京子と米国在住のドーン・ブラックウェルが 70 年間にカバーする選曲で華麗な歌声を披露、華やかな会にふさわしい締めくくりとなりました。

記念ディナーに米国から駆けつけたボビー・セリグマン元会長（1988 年）は、創立以来のミッションを再確認しようと、スピーチの中で、いみじくも次のように述べています。「高等教育と変化する社会のニーズにふにんえん続けてきたことが、私たちの 70 年間に成功に導きました。これからも目の前の問題に立ち向かい、待ち受ける困難に柔軟に対処していかなければなりません」

この会に合わせて来日した海外会員と旧交を温めるため、前後にさまざまなプログラムが用意されました。中でも熱海へのグループ旅行は、邦楽演奏や美術

ご寄付のお願い

CWAJ は年間を通して、CWAJ 教育・奨学金プログラムへのご寄付をお願いしています。皆様からのご支援が、国内外で勉学を志す若者たちの夢をかなえ、社会に力を与えます。ご寄付のお申込みは下記までお願いいたします。CWAJ は、国際交流基金の「特定寄附金制度」を活用して、自国外の大学院で学ぶ女子学生への奨学金の拡充を図っています。この制度を通してのご寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは下記までお問い合わせください。

donations@cwaj.org

第 64 回

CWAJ 現代版画展

2020 年 10 月 21 日（水） -
10 月 25 日（日）

ヒルサイドフォーラム

（代官山 ヒルサイドテラス F 棟）

今年も光溢れるヒルサイドフォーラムで開催します。テーマは『Fresh Wind』。新しい風を感じていただける展覧会です。お誘い合わせの上、ぜひお出かけください。

鑑賞など充実した内容で、参加者には忘れられない思い出となりました。また年間を通して、CWAJ の各委員会が 70 周年記念のユニークなイベントを企画しました。

記念の年を迎えるにあたり、教育、アート、コミュニティーの分野における 70 年間の成果を目に見えらるかたちで示すために、6 枚のパネルを作成しました。CWAJ の主要イベントで掲示されたこのパネルは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://bit.ly/3axJ6RV>

第63回CWAJ現代版画展

CWAJは毎年日本有数の規模の現代版画展を開催して展示・販売し、日本の現代版画の魅力を世界に発信するとともに、その純益で奨学金やアーティストへの助成金を提供しています。第63回となる2019年は、10月23日から27日まで代官山ヒルサイドフォーラムにて開催されました。例年は開会日前夜に催されるオープニングレセプションですが、即位の礼のため初日の夜に変更となり、200人を超える参加者が集いました。

版画展カタログやオープニングの挨拶でCWAJ70周年を祝うメッセージを伝えるとともに、会場にはCWAJの歴史を語る6枚の大型パネルも掲示されました。また併設展として続けてきた企画をCWAJ70周年記念展に変更、『ワンダー・ウーマン!』というタイトルで本展と同じ会場で開催しました。パワフルな女性アーティスト6人（大坂秩加、斉藤里香、豊泉綾乃、土屋未沙【写真下】、若木くるみ、山田彩加）の新鮮味あふれる秀作が、来場者の人気を集めました。



同じく注目されたのは、2019年ヤング・プリント・メーカー賞受賞者山田ひかる、2016年受賞者大森弘之の力のこもった作品6点。展示総数はこれに加え本展が212点、『ワンダー・ウーマン!』展48点、そして作家ご遺族から寄贈された作品2点の計268点となりました。

「ハンズ・オン・アート」委員会は今年も数点の版画から立体コピーを作成しました。視覚に障害のある来場者がつぎつぎと訪れ、丁寧な説明を聞きながら指で触れて楽しんでいました。「ハンズ・オン・アート」は、海外の同様の企画展ではまず出会うことのない、CWAJならではのユニークなプログラムとして続けられています。

版画にはさまざまな技法と組み合わせがあります。人気作品の技法や作家の意図をわかりやすく解説するCWAJのガイドツアーも公募展には珍しい取り組みで、版画やアーティストへの理解が深まったと、参加者には大好評でした。会場ではまた石橋佑一郎氏の木版画制作デモンストレーションが二度行われ、多数の来場者が鮮やかな手先を見つめながら、説明に耳を傾けていました。



神戸倶楽部の協力を得て一年おきに開催してきた神戸展。7回目となる2019年は11月に行われ、選りすぐりの作品70点を展示しました。会期中にはCWAJ70周年と神戸倶楽部150周年を祝って、三城礼氏と西側真理子氏による豪華なチャリティーコンサートも催されました。



2019年CWAJ現代版画展賞

1名 賞金10万円

小越 朋子「Blue & Purple」

審査員特別賞2名

勝木 有香「Step not to stop」

久後 育大「below ground-43」

2020年度CWAJヤング・プリント・メーカー賞（YPA賞）

1名 賞金50万円

田代 ゆかり 福岡教育大学大学院2年（2021年3月卒業予定）賞金は独自で編み出した版画技法、紙式メゾチントを教育現場に普及させるための教材研究費に活用する予定です。

福島支援プロジェクト

福島支援奨学金：CWAJが2012年以来、福島県立医科大学看護部の学生を対象に提供してきた福島支援奨学金の受給者は、2019年度で20名となりました。これまでの奨学生は、被災地や新天地で看護師、助産師、保健師として活躍しています。2019年度の奨学生は2名、津川莉奈さんは高齢者が多い環境で育った経験から老人看護を学び、地域に貢献しようと考えています。飯間環さんは東日本大震災の際に叔母の出産に立ち会った経験から、助産師として困難な状況の中でも安全で安心できるお産を提供したいと考えています。

相馬の台風被害に救援金：東日本大震災後に立ち上げられた「相馬広域こころのケアセンターなごみ」をCWAJは設立当初から支援しています。2019年10月福島は台風19号に見舞われ、相馬市も高潮などで甚大な被害を受けました。CWAJは70周年記念ラッフルの収益から20万円を同センターに寄付しました。

田善顕彰版画展：江戸時代後期の銅版画のバイオニアとして知られる亜欧堂田善を生んだ福島県須賀川市は、現在も版画が盛んな土地柄です。CWAJでは、須賀川市商工会議所青年部主催で毎年開催される小中学生の版画コンクール「田善顕彰版画展」の副賞として、受賞者作品（小中学生各1名）をCWAJ現代版画展で展示し、受賞者と保護者を東京の会場に招待しています。2019年には須賀川市立第二小学校6年



岩井翔太さん、第一中学校3年藤井花さん（写真左）の版画作品が展示されました。

会長からのメッセージ

CWAJは、女性が女性を支援する機会をつねに提供し続けています。機会は教育、アート、コミュニティ活動、そして友情を通じて育まれます。女性が女性をサポートするのは心躍る体験であり、熱意あふれるこの会の会長を務められることは大きな喜びです。海外から日本に移り住むことになった女性にとって、CWAJのボランティア活動や文化交流プログラムは、ネットワークをひろげる素晴らしいチャンスです。いっぽう日本の女性たちにも、有意義なボランティア活動を通してさまざまな文化的背景をもつ友人の輪がひろがります。こうしてすべての会員が異文化理解を深めていくことができるのです。会の目標に向けて一緒に働くことで得た友情の絆は、揺るがないものとなって一生残ります。

CWAJの第一のミッションは、勉強意欲に燃える学生に奨学金を提供することです。元奨学生たちは今も世界各地で着実に成果を上げています。資金はさまざまな活動やイベントを通じて調達しておりますが、会員全員がボランティアとして無償で働くため、集まった資金は全額を奨学金や教育プログラムに充てることができます。

CWAJが奨学金を提供してこられたのは、ひとえに善意の皆様からのご寄付・ご支援のお蔭でございます。全会員を代表して、ここに篤く御礼申し上げます。これまで70年間、CWAJは女性たちの心のよりどころとなっており、皆様のご厚意のもとに、これらの70年間も女性をサポートし続けていきたいと願っております。

ジェイン グライムズ



パイオニアを育て続ける CWAJ 奨学金

戦後の復興期に日本から海外に留学するには、並外れた意志と努力が必要でした。そして近年また、留学を目指す日本の若者の急減が社会問題となっています。

2019年に大きな節目の年を迎えたCWAJは、渡航費援助に始まった海外での勉学支援の精神を継承して、大学院に留学する女性2名に、支給期間2年間、総額各500万円の「CWAJ創立70周年記念海外留学大学院女子奨学金」を提供しました。その他7名の新奨学生を含めて、創立以来のCWAJ奨学生総数はおよそ850名、総支給額は9億8千万円を超えています。

CWAJ奨学金創設以来の基本理念が女性リーダーの育成であり、さらに視覚障害者リーダーの育成です。数え切れない方の善意とご寄付に支えられて、

元奨学生たちはさまざまな分野でキャリアを積み、発信し、活躍しています。70年を振り返り、各十年ごとに1名ずつではありますが、パイオニアとして活躍するCWAJ奨学生を紹介させていただきます。(以下敬称略)

中本博子 (1951 海外渡航生) 米国で当時まだ珍しかったインテリアデザインを学び、日米で活躍、後にヒロシマ・ゲートウェイ・トゥ・ピース設立

奈良橋陽子 (1969 海外渡航生) キャスティング・ディレクター、映画プロデューサーとして世界的に活躍中

生井良一 (1978 第1回CWAJ視覚障害学生奨学生) 日本初の全盲の理学博士となり、現在は嘉悦大学教授

江川雅子 (1985 海外留学奨学生) 東京大学初の女性理事。現在は一橋大学大学院経営管理研究科教授

高橋玲子 (1990 視覚障害学生奨学生) 株式会社タカラトミー社長室共用品推進課係長目や耳の

不自由な子どものための「共遊玩具」を開発
エヴァ・マホトカ (2006CWAJ 版画展 50周年記念奨学生) 日本美術研究者としてストックホルム大学日本語・日本研究科准教授

福地健太郎 (2011 視覚障害学生海外留学奨学生) 英国留学後日本赤十字社を経て、JICA職員として途上国のマイノリティ支援に従事

CWAJは元奨学生と会員、また奨学生どうしのつながりを大切にしています。坪内南氏 (SA2004) がパネリストを務めた70周年記念シンポジウムには、安原理恵 (SVI2007) 小玉美意子 (SA1972) ルシア・ヴァンチュラ (IUC2006) 成井諒子 (SA2013) 各氏が参加して交流を深め、祝賀夕食会では2019年度奨学生7名が紹介されて、多数の先輩奨学生と知り合う機会を得ました。(カッコ内の奨学金の略称については、下の奨学生紹介をご覧ください)

2019年度CWAJ奨学生



CWAJ 創立70周年記念 海外留学大学院女子奨学金 (SA) 支給総額各500万円 支給期間2年

左近 喜音 (さこんしお)

留学先：ペンシルバニア州立大学物理学科
博士課程 (米国)

専攻：天文学

椎間 優子 (しいま ゆうこ)

留学先：ブライアントンアンドサセックス医科大学
医学研究修士課程 (英国)

専攻：小児救急医療

CWAJ 佐野力奨学金 (NJG) 支給額200万円

シュシェン、ハナ ミジャ (チュニジア共和国)
在学：筑波大学大学院システム情報工学
博士課程
専攻：行動心理学

CWAJ 外国人留学生文化交流大学院女子奨学金 (NJG) 支給額200万円

エルミロヴァ、マリア エドワルドナ (ロシア連邦)

在学：千葉大学大学院園芸学研究科
緑地環境学コース博士課程

専攻：園芸・造園学

CWAJ 視覚障害学生奨学金 (SVI-SJ) 支給額各150万円

松岡 琴乃 (まつおか このの)

在学：明治学院大学心理学部教育発達学科
特別支援教育コース3年

専攻：心理・教育学

築島 瞬 (やなししま しゅん)

在学：首都大学東京大学院理学研究科
数理科学専攻博士前期課程

専攻：確率・数理経済

CWAJ 東京アメリカンクラブ・ウィメンズ グループ奨学金 (TACWG-NJG) 支給額200万円

ザブラツカイト、ギエドレ (リトアニア共和国)

在学：東京工業大学機械系原子核工学
コース博士課程

専攻：原子力工学

CWAJ 福島支援奨学金 (FRS) 支給額各50万円

飯間 環 (いいま たまき)

福島県立医科大学看護学部看護学科3年

津川 莉奈 (つがわりな)

福島県立医科大学看護学部看護学科3年

CWAJ
はこんな
団体です

一般社団法人CWAJ (College Women's Association of Japan) は、さまざまな国の女性たちが幅広い交流の中で友情を深めながら、首都圏を中心に教育・文化活動をおこなっているボランティア団体です。1949年に日本人留学生への渡航費援助を目的に発足した小さなグループが、現在では約25か国から集まった300名の会員を有する会となりました。全員が無償のボランティアとして、毎年版画展やさまざまなイベントを開催し、その純益で奨学金を提供するほか、視覚障害者、外国人留学生、児童養護施設の子どものための英語プログラムなど、楽しみながら教育支援を進めています。活動は外国人と日本人がペアを組んで、原則として英語でおこないます。CWAJ入会についてのお問合せはこちらへどうぞ。 membership@cwaj.org

日本で会員になり、海外に帰国/転居した方には海外会員の制度があります。CWAJ海外会員についてのお問合せはこちらへどうぞ。

cwajoverseas@cwaj.org

コミュニティ・プログラム

● 視覚障がい者との交流の会 (VVI)

視覚障がい者との英会話の集い (ECG) イベントを 11 月 17 日、筑波大学附属視覚特別支援学校にて開催しました。同校卒業生で伝説的なパラリンピック競泳メダリストとして著名な河合純一氏を招いて、キャリアと輝かしい業績についてお話を伺いました。VI フレンド、CWAJ ボランティア、筑波とアメリカンスクールの学生など多数が参加しました。河合氏は獲得した金メダルのひとつを持参し、参加者全員が点字の入った金メダルに触れる機会に恵まれて、貴重な価値を肌で感じる事ができました。最高の目標に向かって日々努力を惜しまない氏の姿勢には、皆が感銘を受けました。続く Q&A では、VI フレンドと積極的な発言が交わされました。



スピーチ後は、音の出る卓球ボールを使用したサウンドテニスボールという競技を楽しみました。ボランティアは目隠しをして参加しましたが、目隠しで競技する難しさは想像を超えるものがありました。すべての参

加者が一緒になって競技する時間を共有することができた一日でした。

河合氏は、日本パラリンピック委員会の委員長および東京パラリンピック選手団長に任命されています。

VVI のその他の活動：

- ・視覚障害者職能開発センターで週 2 回の英語レッスン (受講生 25 名以上) を通年で実施
- ・筑波大学附属視覚特別支援学校高等部で年 2 回、生の英検試験に備えるための英語模擬インタビュー
- ・VVI 会報を 3 回発行し、200 人の視覚障害者仲間に送付

● 外国人留学生との交流の会 (FSC)

日本で学ぶ留学生を対象としたこの会では、2019 年に 4 回のプログラムを開催しました。



4 月には新入学生のためのお茶会、7 月は国立劇場での歌舞伎鑑賞教室、10 月に CWAJ 現代版画展の鑑賞、そして 11 月には国立西洋美術館の鑑賞会。お茶会と歌舞伎鑑賞には 12 人が参加、

日本の伝統文化を楽しみました。CWAJ 現代版画展には 16 名が参加、ガイドの解説に聞き入っていました。FSC の CWAJ ボランティアは留学生のメンターの役割も果たしています。

● 子どものための英語支援の会 (EOC)

2019 年 3 月からスタートした EOC は、西東京市の児童養護施設、聖ヨゼフホームの子どもたちに、楽しみながら英語に親しんでもらうことを主眼としたプログラムです。対象は就学前から小学校低学年の子どもたち。毎月 5~8 人の CWAJ ボランティアがホームを訪問し、各月のリーダーが選んだ英語の絵本を中心に、お話の内容に合わせてごっこ遊びをしたり、工作やゲーム、歌などを通して英語に親しみます。イースターやハロウィーン、クリスマスには、特別イベントを用意しています。聖ヨゼフホームは、大戦後間もない 1946 年、戦災孤児のためにカトリックの修道会が設立した施設が前身となっています。



カルチュラル・プログラム

● カルチュラル・プログラム

CWAJ カルチュラル・プログラムは、会員および一般参加者のための文化・教育・社会プログラムで、原則として英語で行われます。2019 年は CWAJ 70 周年記念イベントとして例年より規模を広げ、『インドネシアを知ろうー音楽、お話、食べ物を楽しみながら』というタイトルで、2019 年 10 月 6 日、四谷のニコラ・バレホールに 120 名の参加者を迎えて開催されました。第 1 部は、東京在住の女性ジャーナリスト、ミラ・ジュノル氏による講演でした。インドネシアは多様な地形・民族・宗教などが調和している国であり、メガワティ初代女性大統領 (2001-2004) をはじめ、女性が国際的に活躍していることなどが語られました。世界最大の家母長社会であるミンナガバワの家母長社会についての話とも興味深いものでした。



第 2 部では、インドネシアの竹製民族楽器アングルの演奏を楽しみました。奏者は「インダ プトゥリ」の 3 人。独自に考案した 3 台の楽器を使って、クラシックから日本とインドネシアの民謡まで、見事な

演奏を披露しました。ほとんどの参加者が初めて見る楽器でしたが、最後には小さなアングロンを各自が手にして指導のもとに音を出し、大合奏をすることができました。

第 3 部はインドネシアのスイーツとお茶の会。4 種類のインドネシアのスイーツとインドネシア茶を味わいながら、歓談の時間を過ごしました。

このプログラムの純益は、CWAJ 奨学金に充てられます。

● 月例昼食会

CWAJ の月例昼食会は、会員どうしの連絡と親睦の場であると同時に、さまざまなジャンルの第一線で活躍するスピーカーの講演を聴くことのできる、教育・文化プログラムでもあります。ゲストにも公開されており、平均出席者数は約 90 名です。2019 年は翻訳家ピーター・マクミラン氏の伊勢物語のレクチャーに始まり、日本車いすテニス協会広報部 佐々木留衣氏はバラスポーツの醍醐味を、さらに国際仏教学者ケネス・タナカ氏は、ユーモアあふれる語り口で日常生活における仏教の教えを説きました。重い障害を負いながら二児の母となったコラムニスト伊是名夏子氏の講演には、全聴衆が熱い感動を覚えました。10 月は版画展に合わせて、フィンランドセンター所長アンナ＝マリア・ウィルヤネン氏がフィンランドの女性アーティストについて解説。世界有数の資産家グレゴリー・モスティン卿の講演ではウェルズ貴族の生活を垣間見たほか、クリスマスにはアカペラコンサートを楽しみました。創造性を高めるこれらのプログラムの目指すところは、私たち自身の考えかたを見つめなおし、知的刺激を受け、学び、楽しむことです。講演は英語で行われ、日本語の講演には英語通訳がつきます。参加ご希望の方は、「CWAJ Monthly Luncheon Meeting」で検索してください。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★



2019 年秋の CWAJ 70 周年記念ラッフルは、版画展会場で最終日に抽選が行われました。

特賞はエア・カナダ社提供の北米往復航空券 2 枚。300 本以上の色鉛筆と画材を詰め合わせたファーバーカステル社の限定版「カールボックス」やペンセット、ラ・ロシェルお食事券、六本木ラビアーツ額装券、オ・ヌワージュのワイン、リーデル社グラス、ハリウッド化粧品など、多くの企業のご提供によるひととき豪華な賞品が注目を集め、大成功を収めました。ラッフル券の売上げは CWAJ 奨学金と福島支援に充てられます。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

一般社団法人 CWAJ

141-0021

品川区上大崎 2-24-13-703

Tel/Fax 03-3491-2091

<https://cwaj.org/>



SCAN ME

